



けんひろで開こう
学びの扉



令和8年6月

令和8年度 県立広島大学 公開講座 案内

県立広島大学地域基盤研究機構では、地域に開かれた大学として、地域の活性化に積極的に貢献していくために、産学官連携や学術広報、生涯学習の支援などを行っています。その一環として生涯学習分野で令和8年度に開講を予定している本学主催の公開講座及び学外組織との連携公開講座についてご案内します。

このパンフレットに掲載している各公開講座の受講者募集の案内は、開講日の約2ヶ月前に本学ホームページ（県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度>各講座の参照URL及び募集チラシ）に掲載して、また関係機関で参加者募集チラシを配布して、お知らせします。

これらの公開講座の受講を希望される方は、本学ホームページの次のURLにアクセスして、各公開講座の開講日時、内容、申込方法等を確認してお申し込みください。

県立広島大学公開講座  検索



URL：<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/>

なお、本パンフレットの情報は発行時のものです。その後の止むを得ない事情により開講日時や申込締切日等が変更になることもあります。お申し込みにあたっては事前に本学ホームページ又はチラシの募集案内を参照してください。また、開講時には講師の所属・職名が異なることがありますのでご了承ください。

ご興味・ご関心のある公開講座の計画的な受講にお役に立ていただければ幸いです。

県立広島大学 地域基盤研究機構
地域連携センター

<<目次>>

1	公開講座	
(1)	広島地域連携センター開講講座	P.2
	主催講座	P.3
	連携講座（共催等）	P.8
(2)	庄原地域連携センター開講講座	P.16
	主催講座	P.17
	連携講座（共催等）	P.20
(3)	三原地域連携センター開講講座	P.22
	主催講座	P.23
	連携講座（共催等）	P.27
2	申込方法	
(1)	広島地域連携センター開講講座	P.29
(2)	庄原地域連携センター開講講座	P.30
(3)	三原地域連携センター開講講座	P.31
3	台風等非常時における公開講座の中止等の対応について	P.32
4	アクセス情報	P.35

広島地域連携センター開講講座

1 主催講座

No	講座名	ページ
01	外国につながる児童生徒の指導に関する基礎講座	3
☆02	応用情報学連続講座 -情報学で何ができるのか-	4
☆03	高校生のための健康科学入門講座	5
04	けんひろ国際文化研究セミナー（仮）	6
☆05	応用情報学連続ミニゼミナール -研究室で学ぶ応用情報学-	7

2 連携講座

No	講座名	ページ
06	ひろしまから考える	8
07	黄金山の景観と植物の葉を知る～クラフト教室	9
08	日本文化にみる〈ふね〉	10
09	エコクッキングに挑戦！ 夏休みこども料理教室	11
10	世界を知る	12
11	読み切り文学講座	13
12	三島由紀夫の「本棚」-翻訳文学を中心に-（仮）	14
13	廿日市市教育委員会との連携公開講座（仮）	15

※ 講座番号に☆のついている講座は、高校生対象講座です。

講座名	外国につながる児童生徒の指導に関する基礎講座		
概要	外国につながる児童生徒の支援をこれから始めたいけれど、どんなことから始めたらいいかわからない、どんな教え方をすればいいかわからないという人はいませんか。この講座では、子どものことばの力に注目して、外国につながる児童生徒の支援の仕方を考えます。		
日時	(1) 4月18日(土) 10:30~12:00 (2) 4月25日(土) 10:30~12:00		
内容	(1) 外国につながる児童生徒の実態	中石 ゆうこ	
	日本国内に増えている、外国につながる児童生徒の背景を知りましょう。 つぎに、大人の言語習得と子どもの言語習得ではどのようなところが違うのか知り、支援を考えるときの基礎的な知識を得ましょう。		
	(2) 外国につながる児童生徒の支援	中石 ゆうこ	
	外国につながる児童生徒のことばの力を測る基準である「ことばの力のものさし」(文部科学省)の知識を得ましょう。 つぎに、その基準を用いて、子どもの実態に合わせた支援の仕方を考えましょう。		
会場	広島キャンパス	開講方法	対面
対象	外国につながる児童生徒の支援をこれから始めたい人/始めたばかりの人		
定員	15名	受講料	3,000円(高校生以下無料)
申込方法	本学ホームページ(参照URL)に掲載	申込締切	令和8年4月7日(火) 17:00まで
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照URL	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/r8041825.html		

講座名	応用情報学連続講座－情報学で何ができるのか－		
概要	<p>「情報」は、水、電気、ガスなどの生活インフラについて重要な社会インフラの一つとなっています。さらに、今後も情報学における成果は、ますます社会で活用されることは間違いありません。本講座は、高校生を対象として、情報分野の有用性を知ってもらうことを目的に、それぞれの話題を易しく解説します。今回は、「アプリ開発」、「エネルギー問題」、「騒音制御」、「インターネット」についてのお話です。本講座は連続講座ですが、希望する講義のみの受講もできます。</p>		
日時	(1)7月11日(土) (2)8月1日(土) (3)8月22日(土) (4)9月12日(土) 10:00～11:30		
内容	(1) アプリ開発入門	宇野 健	
	<p>アプリ開発と言えば、プログラミングと考える人が多いです。確かにプログラミングは情報学の基礎であり、非常に重要であることは間違いありません。しかし、アプリ開発においては、プログラミングは数ある工程の1つにしかすぎません。そこで、この講座では、アプリ開発とプログラミングの正しい関係について理解してもらうことを目的とし、実際に本学の学生が開発したアプリを紹介します。</p>		
	(2) Ev・再エネ・Dx で変化する私たちのエネルギー事情	重安 哲也	
	<p>脱炭素化による地球温暖化対策の推進が強く求められている。中でも、脱炭素電源の確保は重要な課題であるが、近年のDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進は電力需要を押し上げると予想されており、脱炭素化の見通しをより困難にする。今回の講座では、日本や世界における電力需要や脱炭素電源の導入などの状況について概観する。また、関連する取り組みとして、EVや再生可能エネルギーなどの活用事例などについて紹介する。</p>		
	(3) AIで合成した音で雑音を消せるか？	肖 業貴	
	<p>近年EVなどへの応用を目指した能動騒音制御(Active Noise Control: ANC)技術は先端的AIの一つとして大変注目されています。本講義では、まず、ANCの原理について説明し、いくつかの応用を紹介します。また簡単なシミュレーションを通してANC技術の性能と有用性を示します。</p>		
会場	広島キャンパス	開講方法	対面
		対象	
定員	40名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ(参照URL)に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照URL	<p>県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度 URLは、受講者募集開始時(6月上旬頃)に開設予定。</p>		

講座名	高校生のための健康科学入門講座		
概要	<p>本学の健康科学コースは、「生体・運動」、「食品・栄養」、「健康管理」に関する多様な知識を総合的に学べ、真に豊かで健康な人間生活の実現を目指しています。今年度、本講座では、「生体・運動」分野から「食べ物×腸内細菌×脳」、「運動と栄養」についてわかりやすく説明します。この講座で得られる知識を日常生活で役立てていただければ幸いです。また、進路選択の参考になることを期待します。(希望回のみ受講も可能です。)</p>		
日時	(1) 8月26日(水) (2) 9月2日(水) 18:30~19:30		
内容	(1) 食べ物×腸内細菌×脳：食べ物がここをかえる？ マイクロバイーム科学	岡田 玄也	
	<p>最近の研究では、腸内細菌が作り出す物質が脳に影響し、気分や行動にまで関わる事がわかってきました。本講座では、「食べ物→腸→脳」のつながりを科学的視点から解説します。発酵食品や食物繊維がなぜ身体に良いと言われているのか、腸内細菌は本当に“ここ”を変えるのかについて紹介します。食とメンタルの関係を“科学的に”知りたい人向けの講義です。</p>		
	(2) 運動と栄養－運動能力と食事を科学的に考える	山岡 雅子	
	<p>「運動能力を伸ばすにはどのような食事を取ればいいのか？」筋肉量をアップしたい！持久力をつけたい！疲労を回復したい！など、理想的な食事は目的によって異なります。本講座では、その目的に応じて、「どのタイミングで、何を、どのくらいの量、食べればいいのか？」について、運動と栄養に関する研究データをもとにご紹介します。</p>		
会場	Zoom 開催	開講方法	リアルタイム配信講座
対象	高校生		
定員	50名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ(参照 URL)に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	<p>県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度 URL は、受講者募集開始時(開催日の約2ヶ月前)に開設予定。</p>		

講座名	けんひろ国際文化研究セミナー（仮）		
概要	調整中		
日時	調整中		
内容	(1)	調整中	栗原 武士
会場	調整中	開講方法	対面
対象	発表者：高校生 観覧者：一般		
定員	調整中	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照 URL）に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ＞地域連携センター＞公開講座＞令和 8 年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約 2 ヶ月前）に開設予定。		

講座名	応用情報学連続ミニゼミナール - 研究室で学ぶ応用情報学 -		
概要	本講座では、高校生に情報学の面白さを知ってもらうことを目的に、情報学科の教員が、専門分野の最新の研究成果や最近の話題についてゼミ形式で説明します。授業は各教員の研究室や演習室で行います。いくつかのグループに分かれ少人数で行いますので、高校生の皆さん、ぜひ日頃の疑問を講師に直接聞いてみてください。		
日時	3月29日(月) 9:00~12:40(仮)		
内容	(1) グループ分け	重丸 伸二	
	少人数で講義を行うため、参加人数に応じてグループ分けを行います。どのグループになってもすべての講義を受講できます。		
	(2) IoT エリアネットワークにおけるデータ収集について	小川 仁士	
	本授業では、IoT エリアネットワークシステムの概要について解説します。そして、モバイルWiFi ルーター、IoT デバイス (ILC AIR Kit)、IoT ゲートウェイサーバ (xampp) を使用した IoT 無線エリアネットワークを構築するとともに、個々の IoT デバイスでリアルタイムに計測したデータをサーバに集約・蓄積する演習を行い、エッジコンピューティングの基礎について体験的に学習します。		
	(3) 画像キャプション生成の仕組み	岡部 正幸	
	画像キャプション生成は、画像を説明する文をコンピュータに生成させる技術です。本講義では、画像から特徴を抽出する畳み込みニューラルネットワークと、文を生成するための言語モデルについて簡単に説明し、Google Colab を用いて学習の様子や任意の画像に対してどのような文が生成されるかを体験してもらいます。		
	(4) 情報技術を使って社会問題を解決！	広谷 大助	
	本講座では社会問題を定量的に扱い解決するオペレーションズ・リサーチについてパソコンを用いて学びます。オペレーションズ・リサーチは世の中の現象等を数式で表し、解を求める課題解決の技法です。今回は高校でも習うことがある Microsoft Excel を用いて実際に操作し様々な社会問題を解決していきます。今まで経験と勘に頼って問題解決していたものを、数式を用いて合理的に問題解決できるやり方を一緒に学んでいきましょう。なお、Excel がインストールされているパソコンを持参していただいても構いません。		
(5) 質疑応答 (研究室再訪問時間・自由参加)	小川 仁士 岡部 正幸 広谷 大助		
講座の時間内に聞けなかったことやさらに詳しく聞きたいこと、授業終了後に浮かんだ疑問などがあれば、各研究室を再訪問して講師に直接聞くことができます。自由参加です。			
会場	広島キャンパス	開講方法	対面
対象	高校生		
定員	15名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ (参照 URL) に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ > 地域連携センター > 公開講座 > 令和8年度 URL は、受講者募集開始時 (開催日の約2ヶ月前) に開設予定。		

講座名	ひろしまから考える（連携：広島市立大学）		
概要	<p>学生や社会人の起業マインドを養うアントレプレナーシップ教育（＝起業家精神教育）に力を入れている県立広島大学・広島市立大学が共催し、起業の入門編として講座を開催します。</p> <p>全2回の講座では、それぞれの大学から、起業し活躍する卒業生・修了生をお迎えし、実際にお話を伺います。やりたいことや働くスタイル、生活環境も人それぞれ。もっと自分らしく輝くために起業という選択肢を考えてみませんか。</p>		
日時	(1)6月29日(月) (2)7月6日(月) 18:30～20:00		
内容	(1)	調整中	(株)ハコジム 代表取締役 永田 秀晶 氏
		調整中	
	(2)	調整中	(株)ムービーインパクト 代表取締役 神酒 大亮 氏
		調整中	
会場	広島キャンパス	開講方法	対面+オンライン配信
対象	高校生・一般の方（起業に興味をお持ちの方）		
定員	対面40名・オンライン60名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照URL）に掲載	申込締切	令和8年6月22日(月)
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照URL	<p>県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度</p> <p>URLは、受講者募集開始時（6月上旬頃）に開設予定。</p>		

講座名	黄金山の景観と植物の葉を知る～クラフト教室（連携：楠那公民館）		
概要	南区の「黄金山」は、地域のランドマークとして四季折々の姿を見せてくれます。本講座では、地域住民や観光客の皆さんが普段何気なく眺めているだろう「黄金山」の景観を形づくる植物、特に葉の色や形、香りなど様々な特徴について、分かりやすくお話しします。本講座では、地域の植物について理解を深めて頂く初心者向けの体験学習として、葉の標本作成クラフトも楽しめます。		
日時	(1) 7月18日(土) (2) 8月22日(土) 14:00～16:00		
内容	(1) 植物の景観を知る、葉のクラフト作成	荻田 信二郎	
	「黄金山」の景観を形づくる植物、特に葉の色や形、香りなど様々な特徴について、分かりやすくお話しします。本講座では、地域の植物について理解を深めて頂く初心者向けの体験学習として、葉の標本作成クラフトも楽しめます。 ※クラフトは、蛍光クレ－粘土の型押しや、葉脈標本作成を予定しています。 また、希望者には、黄金山の竹を用いたネームタグ作成体験も提供します。		
	(2) 植物の景観を知る、葉のクラフト作成	荻田 信二郎	
	※第1回・第2回ともに同様の内容です。ご希望の回にご参加ください。		
会場	楠那公民館	開講方法	対面
対象	小中高生向け（小学生は保護者同伴）、自由研究・探求向け		
定員	各回10名	受講料	無料 (ただし、材料費として500円いただきます)
申込方法	本学ホームページ（参照URL）に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度URLは、受講者募集開始時（開催日の約2ヶ月前）に開設予定。		

講座名	日本文化にみる〈ふね〉（連携：広島県立図書館・広島県立文書館）		
概要	古来より〈ふね〉の発達により、すべての「もの」が移動範囲を広げてきました。とくに島嶼国家である日本では、〈ふね〉がなかったならば、今の文化は形成できなかったでしょう。また、〈ふね〉は、人々に様々な発想も与えました。宇宙船から空想の乗り物まで、〈ふね〉は多岐にわたって解釈されていきます。本講座では〈ふね〉について、文学と歴史の視点からみていきます。〈ふね〉をどのように定義するかは各講師にゆだねます。〈ふね〉とは何か、それぞれの分野からの見解をお楽しみください。		
日時	(1)7月21日(火) (2)7月28日(火) (3)7月30日(木) 10:15~12:00		
内容	(1) 船上の「文」—森鷗外『舞姫』	福田 涼	
	日本へ向かう「舟」の「中等室の卓のほとり」で、帰朝する洋行エリート・太田豊太郎によって書かれた「文」—森鷗外『舞姫』は、このような体裁を取る小説です。本講座では、「舟」に関する記述や、船舶を主力とする国際輸送をめぐる事情などに注目しながら、『舞姫』を多角的に読み直します。豊太郎とエリスの「悲恋物語」という枠組みを超えた、『舞姫』の「小説」としての仕掛けを、一緒に探ってゆきましょう。		
	(2) 広島藩の御触書にみる「船」	杉山 聖子	
	江戸時代の村役人が作成した村方文書の中には、幕府や藩が出した御触書などの法令を、書き留めた記録が多く残されています。広島藩が賀茂郡の村々に向け出した御触書のなかには、御座船、御公船、廻船、異国船、他国船、難破船等々、様々な「船」がみられます。この講座では、そうした御触書のなかの「船」を紹介しながら、統制や支配の背景について考えます。		
	(3) 未知の世界へ誘う〈ふね〉	目黒 将史	
人々は〈ふね〉に乗り、未知なる世界へ渡ってきました。『宇津保物語』の俊蔭は波斯国に流され、「木の空洞（うつほ）」で生活します。また、安倍頼時や源為朝は、自分の居所を求めて〈ふね〉に乗り、未知の世界を知ります。さらに室町物語『厳島の本地』などでは、神々も〈ふね〉により日本へ渡ってくるのです。本講座では、日本古典文学の立場から、漂流の物語や空舟（うつほぶね）など、〈ふね〉による未知（異世界）との邂逅を考えます。			
会場	広島県立文書館研修・会議室	開講方法	対面
対象	日本の歴史や文化に関心をもつ方		
定員	40名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照 URL）に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度 URL は、受講者募集開始時（6月上旬頃）に開設予定。		

講座名	エコクッキングに挑戦！ 夏休みこども料理教室（連携：仁保公民館）		
概要	「エコクッキング」について知っていますか？ いつもは捨ててしまう野菜の種や皮、冷蔵庫に眠る余りものを工夫し、おいしい料理に大変身させます！講座を通して、環境にやさしい生活を心がけたい、普段の生活でも料理を作りたいという気持ちになってくれるとうれしいです。		
日時	8月下旬（調整中） 10時00分～13時00分		
内容	(1) お昼ごはんをつくろう！		森脇 弘子
	季節感のある旬の食材を無駄にせず、余すところなく使って料理をするエコクッキングを紹介します。お友達といっしょに、環境のことを考え、おいしく、彩りきれいなお昼ごはんをつくって食べましょう。大学生のお姉さんも手伝いに来てくれます。		
会場	仁保公民館	開講方法	対面
対象	小学4～6年生		
定員	対面16名	受講料	無料 (ただし、材料費として500円程度いただきます)
申込方法	本学ホームページ（参照URL）に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度 URLは、受講者募集開始時（開催日の約2ヶ月前）に開設予定。		

講座名	世界を知る（連携：広島市立大学）		
概要	調整中		
日時	10月頃		
内容	(1)	調整中	市大教員 野田 睦美
		調整中	
	(2)	調整中	県大教員 尾崎 則篤
		調整中	
会場	広島市立大学サテライトキャンパス	開講方法	対面+オンライン配信
対象	高校生・一般の方		
定員	対面 40名・オンライン 60名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照 URL）に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ＞地域連携センター＞公開講座＞令和8年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約2ヶ月前）に開設予定。		

講座名	読み切り文学講座（連携：南区図書館）		
概要	活字離れが進む中、じっくりと一冊の書物と向き合う時間を持つことも難しくなりました。書物に親しみ、文学の魅力に触れ、改めて文字やことばの持つちから、読書の醍醐味を思い起こしてみませんか。		
日時	(1)10月21日（水） (2)10月31日（土） 10:00～11:30		
内容	(1) コルソン・ホワイトヘッド『地下鉄道』を読む	栗原 武士	
	コルソン・ホワイトヘッドの『地下鉄道』は2016年に発表され、現代的なスレイヴ・ナラティブ（奴隷体験記）としてピューリッツァー賞を受賞した小説です。19世紀半ばのアメリカで「地下鉄」が走るってどういうこと？今回はこの作品を、当時の黒人を取り巻く歴史的・社会的背景を踏まえつつ、じっくりと読み込んでいきたいと思います。		
	(2) 「共生」の条件——大江健三郎『飼育』が描く「眼差し」	福田 涼	
	「黒人兵を獣のように飼う……」——戦後日本を代表する小説家・大江健三郎の短篇『飼育』（1958年）の一節です。本講座では、主に「黒人表象」と「眼差し」という二つの観点から『飼育』を分析します。マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』やジョゼフ・コンラッド『闇の奥』などの英語圏の文学も参照しつつ、言語や文化を異にする「他者」との「共生」を可能にする条件について、共に思考を深めてゆきましょう。		
会場	南区民文化センター3階 大会議室 A	開講方法	対面
対象	文学・読書に興味をお持ちの方		
定員	40名（仮）	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照URL）に掲載 または南区図書館へ直接連絡	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度 URLは、受講者募集開始時（開催日の約2ヶ月前）に開設予定。		

講座名	三島由紀夫の「本棚」-翻訳文学を中心に-（仮）（連携：宇品公民館）		
概要	調整中		
日時	調整中		
内容	(1)	調整中	福田 涼
	調整中		
	(2)	調整中	福田 涼
	調整中		
会場	宇品公民館	開講方法	対面
対象	調整中		
定員	25名（仮）	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照 URL）に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約2ヶ月前）に開設予定。		

講座名	広島地域連携センター連携公開講座 講座名未定（連携：廿日市市教育委員会）		
概要	調整中		
日時	調整中		
内容	(1)	調整中	鍛島 秀明
	調整中		
会場	山崎本社 みんなのあいプラザ	開講方法	対面
対象	調整中		
定員	調整中	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照 URL）に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ＞地域連携センター＞公開講座＞令和 8 年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約 2 ヶ月前）に開設予定。		

庄原地域連携センター開講講座

1 主催講座

No	講座名	ページ
☆01	農業を考える	17
☆02	遺伝子解析	18
☆03	庄原地域連携センター主催公開講座（仮）	19

2 連携講座

No	講座名	ページ
04	庄原市民公開講座（前期）「進化する農業」（連携：庄原市）	20
05	庄原市民公開講座（後期）（仮）	21

※ 講座番号に☆のついている講座は、高校生対象講座です。

講座名	農業を考える		
概要	太陽光の下で植物を育てる農業、閉鎖空間で環境を管理・制御する農業など、農業には様々な形態があります。また、栽培も種子や苗、さらには細胞から植物を育てる場合があります。地球温暖化が進むなか、地域の特性にあった農業とは何かを考えてみましょう。		
日時	(1) 7月4日(土) 13:00~13:50 (2) 7月4日(土) 14:00~14:50 (3) 7月5日(日) 13:00~13:50 (4) 7月5日(日) 14:00~14:50		
内容	(1) えっと、畑が好きじゃけえ	甲村 浩之	
	野菜における光、水、温度、土壌、肥料成分など各種栽培環境ストレスが、生育・収量や品質成分・食味に与える影響について、お話しします。		
	(2) 施設の省力化は農業の強力化	古山 真一	
	施設園芸(温室)の高度化(環境制御技術・生体情報の活用)や低コストかつ省力化した栽培技術は強力なツールになります。これらについて、具体例を挙げながらお話しします。		
	(3) 樹になる果物が気になる	藤田 景子	
	果樹のひとつであるブドウの遺伝子発現解析によるアントシアニン生合成誘導機構の解明、ブドウのゲノム解析による果皮色決定に関する研究などのブドウの高品質安定生産に向けた生産技術についてお話しします。		
	(4) 細胞培養は culture をつくる	荻田 信二郎	
	植物細胞を目的に応じて自由に選抜・デザインする細胞操作技術を確立、増殖効率や植物細胞の物質生産性を向上させる生育技術を基盤とした地域課題の解決法についてお話しします。		
会場	庄原キャンパス	開講方法	対面
対象	高校生、その保護者や高校教員		
定員	30名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ(参照URL)に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学庄原地域連携センター		
参照URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度 URLは、受講者募集開始時(6月中)に開設予定。		

講座名	遺伝子解析		
概要	高校生や生物学の担当教員等を対象とした実験講座です。PCR（ポリメラーゼ連鎖反応）は DNA を扱う技術の一つであり、新型コロナウイルスの診断をはじめとする医療現場や犯罪捜査など様々な場面で利用されています。本実験講座では、参加者が自らの口腔粘膜細胞から DNA を抽出し、PCR を利用して 2 型アルデヒド脱水素酵素遺伝子のタイプを調べる実験を行います。		
日時	8 月 6 日（木） 11:00～18:00		
内容	(1) DNA の抽出と PCR 実験	松崎 秀紀	
	2 型アルデヒド脱水素酵素はお酒に含まれるアルコールの代謝過程で働く酵素です。日本人では遺伝子のタイプによりこの酵素の働きが強い人と弱い人がいます。この講座では参加者が自分の毛髪などから DNA を抽出し、PCR を用いて 2 型アルデヒド脱水素酵素の遺伝子のタイプを調べます。		
会場	庄原キャンパス 5111 実験室	開講方法	対面
対象	遺伝子の働きやその解析方法に興味のある高校生 高等学校で生物学を担当する教員		
定員	15 名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照 URL）に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学庄原地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ＞地域連携センター＞公開講座＞令和 8 年度 URL は、受講者募集開始時（6 月中）に開設予定。		

講座名	庄原地域連携センター主催公開講座（仮）		
概要	調整中		
日時	調整中		
内容	(1)	調整中	橋本 温
	調整中		
会場	庄原キャンパス	開講方法	対面
対象	高校生		
定員	30名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照 URL）に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学庄原地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約2ヶ月前）に開設予定。		

講座名	庄原市民公開講座（前期）「進化する農業」（連携：庄原市）		
概要	農業には、太陽光の下で植物を育てる農業、環境を管理・制御する施設園芸（温室）による生産など様々な形態があります。また人だけでなく魚も栽培を始めました。さらに、種子だけでなく細胞から育てる技術もあります。地域の特性にあった農業とは何かを考えてみましょう。		
日時	(1) 6月19日（金）14:40～16:10 (2) 6月26日（金）14:40～16:10 (3) 7月3日（金）16:20～17:50 (4) 7月10日（金）16:20～17:50		
内容	(1) 知ろう 作ろう 庄原市の特産野菜	甲村 浩之	
	庄原市で作っている特産野菜について知識を広めていきましょう。もっと好きになります。光、水、温度など各種栽培環境ストレスが生育・収量や品質成分・食味に与える影響についてもお話しします。		
	(2) ナマズは立派な農家	谷垣 悠介	
	人が農業する時代はもう古いです。今はもう「魚」が農業する時代になりました。なんと「魚」は普通に生活するだけで野菜を育ててしまいます。ですが、冬は眠いので野菜を育てられませんか。これを解決すれば…!?		
	(3) 見てみよう 進化する施設園芸	古山 真一	
	施設園芸（温室）生産の高度化によって、農業はもっと効率的で強いものになります。温度や湿度などの環境をうまくコントロールすることで、作物の生育や病気の発生を調整できます。低コストで実現できる技術や工夫について、事例を交えながらお話しします。		
会場	庄原キャンパス	開講方法	対面
	対 象 庄原市に居住、もしくは通学・通勤する人。		
定員	30名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照 URL）に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学庄原地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ＞地域連携センター＞公開講座＞令和8年度 URL は、受講者募集開始時（5月中）に開設予定。		

講座名	庄原市民公開講座（後期）講座名未定（連携：庄原市）		
概要	調整中		
日時	調整中		
内容	(1)	調整中	調整中
	調整中		
会場	庄原キャンパス	開講方法	対面
対象	庄原市に居住、もしくは通学・通勤する人。		
定員	30名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照 URL）に掲載	申込締切	調整中
問合せ先	県立広島大学庄原地域連携センター		
参照 URL	県立広島大学トップページ>地域連携センター>公開講座>令和8年度 URL は、受講者募集開始時（開催日の約2ヶ月前）に開設予定。		

三原地域連携センター開講講座

1 主催講座

No	講座名	ページ
☆01	メディカルスタッフのお仕事と附属診療センターの紹介～高校生対象～	23
02	家族支援の実践実技講座	24
03	「聞こえにくい」をほっとかない！ ～聞こえを大切にコミュニケーションを楽しみましょう～	25
04	小児看護の基礎知識と小児看護ケアモデル・リフレクション講座	26

2 連携講座

No	講座名	ページ
05	青少年から大人まで メンタルヘルスのためのストレスケア講座（連携：劇団しましま）	27
06	女性の健康セミナー ～更年期以降を健康美人に過ごす～（後援：三原市）	28

講座名	メディカルスタッフのお仕事と附属診療センターの紹介～高校生対象～		
概要	県立広島大学保健福祉学部には附属診療センターが設置されています。公立大学の保健福祉学部内にこのような医療機関を有するのは本学だけです。当センターには、医師の他にコメディカルスタッフ(看護師、理学・作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、診療放射線技師)が従事しています。本講座では、附属診療センターの紹介と、メディカルスタッフとはどのような職種で、どのような医療を提供しているかを高校生の皆さんに紹介します。		
日時	6月6日(土) 10:00～11:30		
内容	(1) メディカルスタッフのお仕事と 附属診療センターの紹介	田口 亜紀(医師) 土路生 明美(看護師) 積山 和加子(理学療法士) 池内 克馬(作業療法士) 小島 理恵子(言語聴覚士) 永野 なおみ(社会福祉士)	
	当附属診療センター業務に従事している医療専門職のスタッフが具体的な仕事内容や診療・リハビリテーション内容等について分かりやすく説明します。 附属診療センターの紹介をします。		
会場	ZOOM 開催	開講方法	リアルタイム配信
対象	メディカルスタッフに関心のある高校生		
定員	50名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ(参照 URL)に掲載	申込締切	5月22日(金)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照 URL	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2026m-kouza01.html		

講座名	家族支援の実践実技講座		
概要	家族支援は、福祉の分野に限らず重要な課題になっています。これまで家族をシステムとして捉え、関係性の視点から問題の評定と介入を試みる支援は、県内の福祉実践においても他の分野においても主流ではありませんでした。しかし現在は、子育て支援や児童虐待等の課題解決には、家族支援の知識と技術が不可欠となってきました。そこで本講座では、欧米で1960年代後半から活発に議論されてきた、家族療法の最新の知識と技術を学ぶ機会を提供します。そして日常の実践へ応用させていけるように、実践的に学ぶプログラムにします。		
日時	(1) 7月5日(日) 10:00~16:00 (2) 8月16日(日) 10:00~16:00 (3) 9月13日(日) 10:00~16:00 (4) 10月18日(日) 10:00~16:00		
内容	(1) 家族支援のための基礎理論		大下 由美
	家族を一つのシステムとして捉え、システムの変化に関する基礎的な考え方を学びます。さまざまな社会生活上の問題は、家族システムという視点から捉えなおすと、構成員間のコミュニケーション過程で問題が構成されると捉えられます。この視点から、児童虐待の問題等、家族間で生じている日常のコミュニケーション過程の変容からもたらす支援論を学修します。		
	(2) 家族システムの変容論		
	家族的関係をシステム(相互作用)で捉える視点の復習を行いつつ、システム内で生じている悪循環過程を評定し、変容する方法について学びます。典型的な問題パターンを例示し、単純な問題の評定、それに基づく介入計画、そして変化を生成する介入段階や基本的な技法(質問法)について学習します。		
	(3) 家族システムの評定と介入に関する基礎知識		
	受講者の領域に関連のある事例を参考にして、家族的関係の中で生じる問題を、クライアントとの対話を通して評定する方法を具体的に学びます。その際、支援者が選択する言葉やクライアントのメッセージの構成法が、クライアントの問題解決にどう影響するのか、そして、クライアントの問題解決の可能性を、コミュニケーション過程で高めていく具体的な方法を学びます。		
	(4) 家族システムへの介入技法の基礎知識		
	家族的関係の中で生じた問題を、対話を通して解決していく過程を実践的に学びます。実際に問題解決に至った事例の逐語記録を用い、使用技法について解説をします。その後、受講者同士で、逐語記録を参考に、問題解決に向かう対話を実演してもらい、技法の使い方、解決文脈の作り方など、実践的な学習を行います。		
会場	三原キャンパス	開講方法	対面
対象	家族支援に関わる専門職		
定員	5名	受講料	8,200円
申込方法	本学ホームページ(参照URL)に掲載	申込締切	6月12日(金)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照URL	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2026m-kouza03.html		

講座名	「聞こえにくい」をほっとかない！ ～聞こえを大切にコミュニケーションを楽しみましょう～		
概要	年齢とともに「聞こえにくくなったな」と感じることはありませんか？ 聞こえにくさを感じたら、「諦めない」で早めに対応することが、よりよい聞こえや健康維持に大事です。聞こえを維持することは、介護予防、認知症予防につながり、生き生きとした暮らしを送ることにつながります。 本講座では言語聴覚士の視点から、加齢による難聴について解説し、コミュニケーションが楽しくなるためのポイントなどを演習も取り入れながらご紹介します。		
日時	9月5日（土）9:30～12:00		
内容	(1) 加齢性難聴について理解を深める知識	佐藤 紀代子 今川 記恵	
	加齢による難聴に関して、耳の構造や加齢による難聴を生じさせる原因、聞こえの特徴、聞こえにくさを放っておくとどうなるのかなど、基本的な解説を行います。また、コミュニケーションを行う上での配慮などについて講義します。		
	(2) 聞こえにくさの体験		
	聞こえにくいとは、具体的にどのくらいの音が聞こえないと、会話に困るのでしょうか？機械を使って測定しながら演習してみます。		
	(3) 聞こえにくさを補う補聴機器（補聴器と人工内耳）		
聞こえにくさの程度によっては、補聴器や人工内耳を使って聞こえを補うことになります。これらは、具体的にどのようなものか、解説するとともに、実際に手に触れて、試聴を経験して、演習してみます。			
会場	三原キャンパス	開講方法	対面
対象	聞こえにくさを感じているご本人・ご家族。 聞こえにくさのある方とのコミュニケーションに興味のある方 保健・福祉・医療の専門職およびボランティア（高校生の受講も可能）		
定員	20名	受講料	1,000円（高校生は無料）
申込方法	本学ホームページ（参照URL）に掲載	申込締切	8月14日（金）
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照URL	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2026m-kouza04.html		

講座名	小児看護の基礎知識と小児看護ケアモデル・リフレクション講座		
概要	近年では小児診療科の拠点病院化や混合病棟の増加、入院期間の短縮化に伴う地域診療の増加により、多様な看護経験をもつ看護師が小児看護を行う機会が増えています。 この講座では、小児看護の基礎知識と小児看護ケアモデルを活用した日頃の実践のリフレクション（振り返り）を通して、子どもや家族の尊厳を守りながら子どもの力が主体的に発揮できる日常の看護実践のヒントを得る機会を提供したいと思います。		
日時	10月24日（土）13:30～15:30 【オンデマンド配信期間：10月26日（月）～11月26日（木）23:59 まで】		
内容	(1) 小児看護の基礎知識と小児看護ケアモデル活用の実際 小児看護の基礎知識と小児看護ケアモデルの内容、活用方法を理解し、日頃行っている子どもと家族への基本的な看護実践のポイントを学びます。 Google オンラインフォームを活用し、具体的な実践例を参加者で共有しながら、日ごろの看護実践を振り返り、子どもや家族の反応、事象のとらえ方のヒントを提案します。	松森 直美	
会場	ZOOM 開催	開講方法	リアルタイム配信 オンデマンド講座
対象	小児病棟・外来・診療所等に勤務する看護職者 小児看護に関心のある高校生・大学生		
定員	20名	受講料	3,000円（高校生・大学生は無料）
申込方法	本学ホームページ（参照 URL）に掲載	申込締切	10月1日（木）
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照 URL	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2026m-kouza06.html		
備考	Zoom、Google オンラインフォームが使用できる PC またはタブレット型端末が準備できること		

講座名	青少年から大人まで メンタルヘルスのためストレスケア講座（連携：劇団しましま）		
概要	青少年から大人まで、近年社会問題化している「メンタルヘルス（心の健康）」という問題に、講義「ストレスところ」や「認知行動療法」等の基礎的な知識から始まり、本講座の特徴である「シアターゲーム」という演劇の手法や「プレイバックシアター」と言う即興劇、「マインドフルネス」と言う瞑想などの実技を通じて、人の心をケアする方法について体験的に学んでいきます。（教育にも応用可能です）		
日時	(1) 6月6日（土）9:30～12:30 (2) 6月20日（土）9:30～12:30 (3) 7月4日（土）9:30～12:30 (4) 7月18日（土）9:30～12:30		
内容	(1) ストレスところ （認知行動療法的視点からのストレスケア）	藤巻 康一郎 今元 佑輔	
	ストレスところの関係やストレスにつながる考え方（認知：物事の捉え方）の特徴など精神科医である講師から概論について講義形式にて説明します。（藤巻） ストレスにつながる考え方（認知）と具体的なすること（行動）の両面からストレスケアについて考え、気分が変わる生活習慣、明日から使えるリラクゼーション方法について学びます。（今元）		
	(2) シアターゲーム	古山 千佳子 高木 雅之（劇団しましま団員）	
	グループで行う「シアターゲーム」という言葉や身体を使った即興的な遊びを通じて、普段の自分から離れるとともに、オープンさと創造性にあふれる雰囲気を経験します。		
	(3) マインドフルネス	織田 靖史	
	精神療法にも取り入れられて注目されているマインドフルネス瞑想について講義及び体験を通して学びます。一部、作業（すること）の中にあるマインドフルネス要素に着目したマインドフルネス作業療法（MBOT）についても体験する予定です。		
	(4) プレイバックシアター	古山 千佳子 高木 雅之 （劇団しましま団員）	
プレイバックシアターは、個人の経験（ストーリー）を語り、演じるもので、リスニングアワーは、ストーリーを語り、聞くものです。ストーリーを通じた体験を通して得られるオープンさと創造性がストレスケアにつながります。また、シアターゲームも体験し、遊びがもたらすオープンさと創造性にあふれる雰囲気を経験します。			
会場	三原キャンパス	開講方法	対面
対象	医療および教育関係者を中心とした関心がある者（高校生・大学生の受講も可能）		
定員	30名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照 URL）に掲載	申込締切	5月22日（金）
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照 URL	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2026m-kouza02.html		
備考	興味がある講義のみの参加可能。 高校生の受講可		

講座名	女性の健康セミナー ～更年期以降を健康美人に過ごす～（後援：三原市）		
概要	わが国では、超高齢社会を迎える中、高齢者個人が健康で幸福感あふれる老後をいかに過ごせるかに大きな関心が寄せられています。一方、40歳を過ぎた頃から「不定愁訴」といわれる「疲れが取れない、なんとなく体調が悪い」などを感じる人も多いのではないのでしょうか。人生のターニングポイントであるこの時期を、快適に過ごすためにも、ご自身の心と身体の変化を理解し、健康で暮らすためのセルフケア能力を高めませんか？我々は、皆様が、将来、少しでも要介護生活にならないよう、健康寿命の延伸を目指し、皆様の健康をサポートします。		
日時	9月12日（土）14:30～16:30		
内容	(1) 女性の健康セミナー ～更年期以降を健康美人に過ごす～	奥山 葉子 飯田 忠行 金川 景子 助産学専攻科学生	
	基本的知識として、女性のライフステージに沿った心と身体の変化などを解説します。更年期以降を自分らしく、健康で快適に過ごすためのセルフケア方法を紹介していきます。さらに、自らの骨の状態を知り（希望者に骨密度測定を実施します）、更年期以降の女性の身体の変化の一つ、なぜ骨粗しょう症になるのかを解説します。そして、骨によい食事や運動を、なぜ骨によいのかを具体的にお伝えします。将来、骨粗しょう症にならないためにも、早期発見、そして、その前段階での骨粗しょう症の予防にお役立てできるような生活習慣を紹介していきます。		
会場	三原キャンパス	開講方法	対面
対象	40～60歳台女性		
定員	20名	受講料	無料
申込方法	本学ホームページ（参照URL）に掲載	申込締切	9月2日（水）
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター		
参照URL	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2026m-kouza05.html		
備考	本講座は、助産師と助産学専攻科の学生が協働して行い、学生の学びの場となるため、講師として参画します。当日は動きやすい服装でご参加ください。 最少開講人数：2名		

《申込方法：広島地域連携センター開講講座》

1 申込先が本学の場合

各公開講座の案内に従ってWEB申込または郵便申込のいずれかでお申し込みください。郵便申込の場合、郵便の往復に日数がかかるため、申込締切がWEB申込より早い場合があります。

(1) WEB申込

本学ホームページに掲載されている公開講座の案内の「申込方法」に、「申込フォーム」のURL及びQRコードがありますので、アクセスして申込フォームに入力して申し込んでください。

申込締切後、無料講座の場合は受講案内を、有料講座の場合は受講料振込と受講案内をお送りします。

(2) 郵便申込

ア 無料講座

申込受付開始後に往復はがきで、往信面の裏に①講座名、②郵便番号、③住所、④お名前（ふりがな）、⑤電話番号、⑥メールアドレス、⑦高校名・学年（高校生の場合）を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、お名前をご記入の上、お申し込みください。

申込締切後、返信はがきで受講案内をお送りします。

(返信)	(往信面の裏)
○	①講座名
○	②郵便番号
○	③住所
○	④名前
様	ふりがな
	⑤電話番号
	⑥メールアドレス
	⑦高校名・学年

イ 有料講座

申込受付開始後に封書でお申し込みください。①講座名、②郵便番号、③住所、④お名前（ふりがな）、⑤電話番号、⑥高校名・学年（高校生の場合）を記入した用紙（様式自由）と、⑦切手を貼り宛先を記入した返信用封筒をお送りください。申込締切後、受講料振込と受講案内をお送りします。

郵便申込の送付先：

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71

県立広島大学 地域連携センター「〇〇〇〇」講座係

(同時期に複数の講座を募集していることもあります。〇〇〇〇の中には講座名をお書きください。講座ごとに別々にお申し込みください。)

2 申込先が連携先（他機関）の場合

申込先が連携先（他機関）の場合は連携先で申込受付を行っており、本学では申込受付を行いませんので、ご注意ください。詳細はチラシやホームページでご確認の上、申込受付開始後に当該機関へお申し込みください。

問合せ先：県立広島大学 広島キャンパス地域連携センター

電話：082-251-9534（平日 9:00-12:00／13:00-17:00）

メール：kouza@pu-hiroshima.ac.jp

《申 込 方 法：庄原地域連携センター開講講座》

- 1 申込先が本学の場合
各公開講座の案内に従ってWEB申込でお申し込みください。

WEB申込

本学ホームページに掲載されている公開講座の案内の「申込方法」に、「申込フォーム」のURL及びQRコードがありますので、アクセスして申込フォームに入力して申し込んでください。

申込締切後、無料講座の場合は受講案内を、有料講座の場合は受講料振込と受講案内をお送りします。

- 2 申込先が連携先（他機関）の場合

申込先が連携先（他機関）の場合は連携先で申込受付を行っており、本学では申込受付を行いませんので、ご注意ください。詳細はチラシやホームページでご確認の上、申込受付開始後に当該機関へお申し込みください。

問合先：県立広島大学 庄原地域連携センター 電 話：0824-74-1000（平日 9:00-12:00／13:00-17:00） メール：gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp

《申 込 方 法：三原地域連携センター開講講座》

- 1 申込先が本学の場合
各公開講座の案内に従ってWEB申込でお申し込みください。

WEB申込

本学ホームページに掲載されている公開講座の案内の「申込方法」に、「申込フォーム」のURL及びQRコードがありますので、アクセスして申込フォームに入力して申し込んでください。

申込締切後、無料講座の場合は受講案内を、有料講座の場合は受講料振込と受講案内をお送りします。

- 2 申込先が連携先（他機関）の場合
申込先が連携先（他機関）の場合は連携先で申込受付を行っており、本学では申込受付を行いませんので、ご注意ください。詳細はチラシやホームページでご確認の上、申込受付開始後に当該機関へお申し込みください。

問合先：県立広島大学 三原地域連携センター 電 話：0848-60-1120（平日 9:00-12:00／13:00-17:00） メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp
--

《台風等非常時における公開講座の中止等の対応について》

台風等の非常時には受講者の皆さまの安心・安全のために公開講座を中止することがありますので、ご了承ください。広島・庄原・三原地域連携センター開講講座の取扱いの概要は以下のとおりです。

詳細については、広島・庄原・三原の地域特性により取扱いが異なる部分もありますので、各講座の問合先でご確認ください。

【広島キャンパス】

1 講座開始前の中止

講座開始2時間前～講座開始の時点で次の事由が発生している場合には、公開講座の開催を中止します。

(1) 気象警報発令に伴う中止

- ア 気象庁から講座会場の所在市町に「暴風警報」、「大雪警報」、「暴風雪警報」、「特別警報」、「津波警報」又は「大津波警報」のいずれかが発令された場合
- イ 気象庁から講座会場の所在市町に「大雨警報」と「洪水警報」の両方が発令された場合
- ウ 自治体から会場のある地区に「避難指示」（警戒レベル4）以上が発令された場合

(2) 公共交通機関の運休に伴う中止

- ア 広島電鉄の電車（1・3・5号線）・バス（12号線（戸坂～仁保方面））及び「都市循環線（まちのわループ）・広島みなと新線」（301・302・311・312・341・342号線）のすべてが運行を停止した場合（運行停止が発表された場合を含む。）
- イ JR広島駅発着の鉄道全路線のすべてが運行を停止した場合（運行停止が発表された場合を含む。）

(3) 地震の発生に伴う中止

- ア 講座会場の所在地区において「震度5強」以上の地震が発生した場合

2 講座開始後の中止

講座開始後に上記1（1）～（3）の講座中止事由が発生した場合には、その時点で講座継続を中止します。

※会場が広島市内の場合、JRの運行停止についても情報提供します。（途中退席可）

3 有料公開講座の受講料の返還

上記1（1）～（3）により有料の公開講座が中止と場合には、受講料のうち中止となった講座相当分を返還します。この場合には該当者に別途メール又は郵便でお知らせします。

【庄原キャンパス】

1 気象警報等の発令、公共交通機関の運行停止による講座中止等の対応

(1) 講座開始前の中止

講座開始時刻の 2 時間前の時点で、又は講座開始時刻の 2 時間前以降であっても、次のいずれかの事由が発生している場合には講座開催を中止することとする。受講者には事前に送付する「受講案内」にこの講座中止事由を記載して周知する。

ア 暴風警報等の発令に伴う中止

(ア) 気象庁から「特別警報」(「〇〇特別警報」)が発令された時点で講座は中止する。

(イ) 気象庁から「大雨警報」と「暴風警報」が同時に発令された時点で講座は中止する。

(ウ) 気象庁から「暴風雪警報」、「大雪警報」のいずれかが発令された時点で講座は中止する。

イ 避難指示の発令に伴う中止

(ア) 会場のある地区に「避難指示」(警戒レベル 4 以上)が自治体から発令された時点で講座は中止する。

ウ 地震の発生に伴う中止

(ア) 会場のある地区において「震度 5 強」以上の地震が発生した場合、講座は中止する。

エ 公共交通機関の運休に伴う中止

(ア) 会場が庄原市内の場合：市内のバス路線(高速バスも含む)、JR がいずれも運行停止になることが予告されている場合は、講座開催を中止する。

(イ) 備北交通路線バス県大線が運行停止、運行停止が予告されている場合は、講座開催を中止する。

(2) 講座開始後の対応

講座開始後であっても、上記(1)ア～エの講座中止事由が発生したときは、その時点で受講者に情報提供のうえ、講座を中止する。

上記(1)エの公共交通機関のいずれかの運行停止の予告が発表された場合は、その時点で受講者に情報提供のうえ、途中退席を認める。

(3) その他

非常事態の発生においては状況によっては中止する場合がある。

2 急病人への対応

(1) 講座中に急病人が出た場合は、本人に病状を確認の上、救急搬送の手配、家族への連絡等を行う。本人に意識がないときはただちに救急搬送の手配をする。

(2) 対応中は講座を中断し、対応終了後に講座を続行する。対応終了後の講座継続が困難な場合には、その時点で講座を中止する。

3 講座中止の決定

(1) 講座中止の決定は、上記 1 及び 2 の講座中止事由の発生有無により、実施責任者(地域連携センター長)が行う。ただし、会場での緊急対応は、実施業務の担当者又は受託者が適宜行い、対応結果を速やかに実施責任者に報告する。

(2) 連携公開講座についても、連携先と事前協議のうえ、同様に対応する。

4 有料講座の受講料の返還

(1) 上記 1 (1) の場合、当該講座を別の日に開講(補講)するときを除き、受領した受講料の当該講座相当分(複数回に亘る場合は按分)を受講者に返還することとし、その旨を受講者に通知する。この場合、返還は受講料の送金口座への振り込みで行い、振込手数料は本学が負担する。

(2) 上記 1 (1) 以外の場合は、大学側事由による講座の中止、その他返還すべき理由があるときを除いて返還しない。

【三原キャンパス】

- 1 気象警報の発令、公共交通機関の運行停止による講座中止等の対応
 - (1) 講座開始前の中止

講座開始時刻の2時間前の時点で、又は講座開始時刻の2時間前以降であっても、次のいずれかの事由が発生している場合には講座開催を中止することとする。受講者には事前に送付する「受講案内」にこの講座中止事由を記載して周知する。

 - ア 気象警報発令に伴う中止
 - (ア) 気象庁から講座会場の所在市町に「特別警報」、「暴風警報」が発令された場合
 - (イ) 自治体から会場のある地区に「避難指示」(警戒レベル4)以上が発令された場合
 - イ 公共交通機関の運休に伴う中止
 - (ア) JR山陽本線又はJR山陽新幹線の三原駅を含む区間、芸陽バス頼兼線に運転見合わせが見込まれる場合
 - (イ) 会場が広島市内の場合：広島電鉄(株)の広島市内の電車・バス路線及び広島バス(株)の広島市内のバス路線がいずれも運行停止になることが予告されている場合
 - ウ 地震の発生に伴う中止

講座会場の所在地区において「震度5強」以上の地震が発生した場合
 - (2) 講座開始後の対応

講座開始後であっても、上記(1)ア～ウの講座中止事由が発生したときは、その時点で受講者に情報提供のうえ、講座を中止する。

上記(1)イの公共交通機関のいずれかの運行停止の予告が発表された場合は、その時点で受講者に情報提供のうえ、途中退席を認める。(※JRの運行停止についても情報収集し、受講者に情報提供する。)
- 2 急病人への対応
 - (1) 講座中に急病人が出た場合は、本人に病状を確認の上、救急搬送の手配等を行う。本人に意識がないときはただちに救急搬送の手配をする。
 - (2) 対応中は講座を中断し、対応終了後に講座を続行する。対応終了後の講座継続が困難な場合にはその時点で講座を中止する。
- 3 講座中止の決定
 - (1) 講座中止の決定は、上記1及び2の講座中止事由の発生有無により、三原地域連携センター長が行う。ただし、会場での緊急対応は、実施業務の担当者又は担当教員が適宜行い、対応結果を速やかに報告する。また、最終的な対応結果を速やかに実施責任者(地域連携センター長)へ報告する。
 - (2) 連携公開講座についても、連携先と事前協議のうえ、同様に対応する。
 - (3) 台風等の接近に伴い、その他緊急事態が発生しそうな場合、講座の実施に支障があると認められる場合は、担当教員と三原地域連携センター長とが、開催日の前々日までに協議し、前日の朝に開催の有無を決定する。中止の場合は速やかに受講生へ連絡する。
- 4 有料講座の受講料の返還
 - (1) 上記1(1)の場合、当該講座を別の日に開講(補講)するときを除き、受領した受講料の当該講座相当分(複数回に亘る場合は按分)を受講者に返還することとし、その旨を受講者に通知する。この場合、返還は受講料の送金口座への振り込みで行い、振込手数料は本学が負担する。
 - (2) 上記1(1)以外の場合は、大学側事由による講座の中止、その他返還すべき理由があるときを除いて返還しない。

《アクセス情報》

県立広島大学 広島・庄原・三原キャンパス

参照 URL : <https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/access.html>



広島キャンパス [大学本部]



〒734-8558 広島県広島市南区字品東一丁目1番71号
TEL.082-251-5178代



アクセス

JR広島駅から

【バス】

- 「JR広島駅(南口)」→JR広島駅7番乗り場から次のいずれかのバスに乗車(約20~25分)
- 302号線(右回り) / 「県立広島大学前」下車後すぐ
- 312号線 / 「県立広島大学前」下車→徒歩3分
- 342号線 / 「県病院前」下車→徒歩2分

【市内電車】

- 「JR広島駅(南口)」→「5号線(広島港行き)」に乗車(約20分)→「県病院前」下車→徒歩7分

【自転車】

約20分

バスセンター(紙屋町)から

【市内電車】

- 「紙屋町西」または「紙屋町東」→「1号線(広島港行き)」または「3号線(広島港行きまたは字品二丁目行き)」に乗車(約20分)→「県病院前」下車→徒歩7分

八丁堀(ヤマダ電機前)から

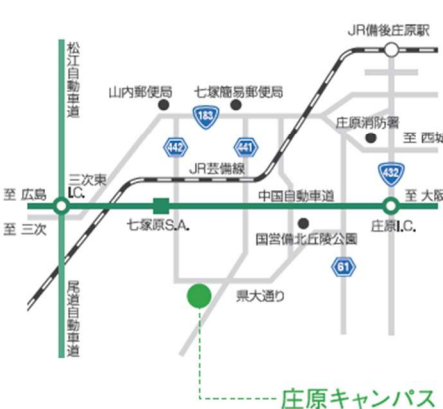
【バス】

- 「八丁堀」→「12号線」に乗車(約20分)→「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車→徒歩1分

庄原キャンパス



〒727-0023 広島県庄原市七塚町5562番地
TEL.0824-74-1000代



アクセス

高速道路

- 広島I.C.~三次東I.C. … 81.5km(約1時間)
- 尾道I.C.~三次東I.C. … 70.6km(約1時間20分)
- ※三次東I.C.から約15分

高速バス

- 「広島バスセンター」→「三次・庄原・東城方面行きバス」(約1時間50分)→「庄原駅バス停」または「県立広島大学」下車
- ※「三次・庄原・東城方面行き」については「広島バスセンター」を6時20分、8時45分発の便については「県立広島大学庄原キャンパス行き」があります(約2時間)
- (2022年5月現在)

JR

- 「JR広島駅」→「芸備線(志和口・三次方面)」→「JR備後庄原駅」下車(約2時間)

JR備後庄原駅バス停~庄原キャンパス

- JR備後庄原駅バス停から備北交通「県立広島大学行き」に乗車(約21分)、「県立大学バスロータリー」(終点)下車

三原キャンパス



〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号
TEL.0848-60-1120代



アクセス

高速道路

- 広島I.C.~本郷I.C.
- ※本郷I.C.から約20分(広島市内から約1時間5分)
- 岡山I.C.~福山西I.C.
- ※福山西I.C.から約30分(岡山市内から約1時間30分)

JR

【新幹線】

- 「JR広島駅」→山陽新幹線こだま号(約30分)→「JR三原駅」下車
- 「JR岡山駅」→山陽新幹線こだま号(約45分)→「JR三原駅」下車

【在来線】

- 山陽本線「JR三原駅」下車

JR三原駅~三原キャンパス

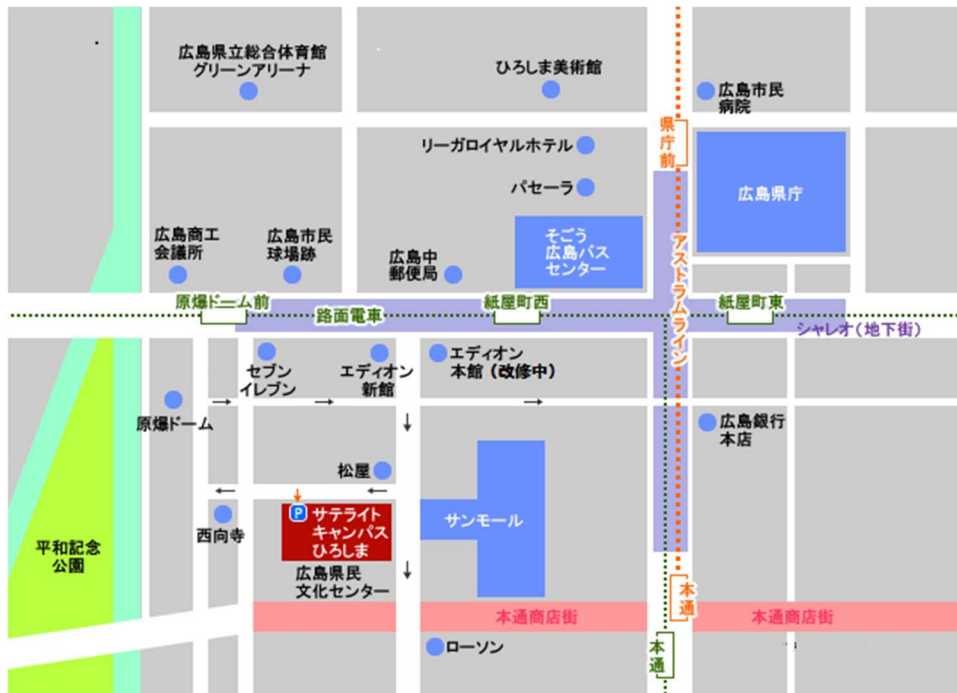
- JR三原駅南口バス5番乗り場から芸備バス「頼兼線」に乗り(約15分)、「県立広島大学」(終点)下車

サテライトキャンパスひろしま

〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3 (広島県民文化センター5・6階)



参照 URL: <https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/accessmap.html>



※ 会場が上記以外となっている講座の会場アクセスは、申込先でご確認ください。



お問い合わせ先

県立広島大学 地域連携センター

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号

電話 082-251-9534 (ダイヤル)

E-mail kouza@pu-hiroshima.ac.jp

県立広島大学 庄原地域連携センター

〒727-0023 庄原市七塚町5562番地

電話 0824-74-1000 (代表)

E-mail gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp

県立広島大学 三原地域連携センター

〒723-0053 三原市学園町1番1号

電話 0848-60-1120 (ダイヤル)

E-mail mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp